



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日  
東

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所  
 コード番号 2708 URL <https://www.kuze.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)市川 明夫 (TEL)03(3987)0018  
 コーポレートサポート本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	42,166	27.5	585	—	634	—	550	—
2022年3月期第3四半期	33,068	15.1	△735	—	△576	—	△608	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 654百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △611百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	119 89	—
2022年3月期第3四半期	△164 51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,651	4,132	17.5
2022年3月期	17,674	2,777	15.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,132百万円 2022年3月期 2,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2023年3月期	—	0 00	—		
2023年3月期(予想)				—	—

(注) 2023年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	54,000	23.1	350	—	360	—	280	—	75	65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	4,626,327株	2022年3月期	3,882,500株
2023年3月期3Q	一株	2022年3月期	181,118株
2023年3月期3Q	4,589,329株	2022年3月期3Q	3,701,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、11月上旬から顕著となった新型コロナウイルス感染症拡大の第8波に見舞われたものの、政府からの緊急事態宣言等の行動制限は発出されず、「Go To Eat」や「全国旅行支援」キャンペーンの再開、10月以降の入国制限の緩和による外国人観光客の増加もあり、サービス業を中心に引き続き回復傾向にありました。一方で長引くロシアのウクライナ侵攻等に起因する世界的なエネルギー価格の高止まりやサプライチェーンの混乱が続いており、さらに米国の段階的な金利引き上げに伴う円安により諸物価の高騰が進み、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場については、外食市場では年末にかけて客足は回復しましたが、仕入コストの上昇や人手不足はますます顕著となっており、本格的な回復にはなお時間がかかる状況にあります。

当社グループは、このような状況のなか、既存のお客様へ様々な提案を通じ、サービスの維持・向上を図るとともに、DX化によるお客様の利便性の向上にも努めました。また中食・惣菜関連、給食・ヘルスケア関連等の新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい業態への営業活動を引き続き強化してまいりました。

なお、2022年3月18日に「資本業務提携契約」を締結しました国分グループ本社株式会社とは、両社の経営資源の相互活用について、継続して協議を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は421億66百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益は5億85百万円（前年同期は7億35百万円の営業損失）、経常利益は6億34百万円（前年同期は5億76百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億50百万円（前年同期は6億8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の局面はあったものの、第2四半期に続き売上高は回復基調にあります。当社グループは、既存のお客様への新たな商品アイテムの提案を進めるとともに、引き続き経費削減に努力し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい業態への営業活動を進めてまいりました。

このような結果、売上高は377億55百万円（前年同期比28.6%増）、セグメント利益（営業利益）は8億24百万円（前年同期は3億72百万円のセグメント損失）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。世界的な原材料やエネルギー価格の高騰に加え、物流費や人件費、更に円安の影響による仕入コストの上昇も続いております。これに対して、引続き製造工程の見直しによるコスト削減や生産性の向上に努め、販売価格を改訂し、新たな販路開拓を進めてまいりました。

このような結果、売上高は43億25百万円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億3百万円（前年同期比74.4%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億4百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益（営業利益）は78百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ59億77百万円増加し、236億51百万円となりました。これは主として現金及び預金が22億1百万円、受取手形及び売掛金が24億13百万円、商品及び製品が9億13百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べ46億22百万円増加し、195億19百万円となりました。これは主として、短期借入金が8億31百万円、長期借入金が2億28百万円減少し、支払手形及び買掛金が53億88百万円、未払金が4億14百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べ13億54百万円増加し、41億32百万円となりました。これは主として国分グループ本社株式会社に対する第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分、並びに利益剰余金が増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は17.5%（前連結会計年度末15.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点では、今後の外食市場の人手不足や食材・エネルギー価格の高騰等の影響が不透明であり、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は適時開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,537	5,739
受取手形及び売掛金	5,267	7,680
商品及び製品	2,404	3,317
原材料及び貯蔵品	292	362
その他	528	660
貸倒引当金	△12	△17
流動資産合計	12,017	17,744
固定資産		
有形固定資産	2,410	2,637
無形固定資産	367	276
投資その他の資産		
投資有価証券	1,237	1,331
その他	1,744	1,860
貸倒引当金	△103	△197
投資その他の資産合計	2,878	2,994
固定資産合計	5,656	5,907
資産合計	17,674	23,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,308	11,697
短期借入金	2,323	1,491
1年内返済予定の長期借入金	1,041	821
未払金	756	1,170
未払法人税等	68	75
賞与引当金	217	153
その他	420	506
流動負債合計	11,135	15,915
固定負債		
長期借入金	3,020	2,792
役員退職慰労引当金	215	228
退職給付に係る負債	223	230
資産除去債務	95	97
その他	207	254
固定負債合計	3,762	3,603
負債合計	14,897	19,519

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	100
資本剰余金	249	999
利益剰余金	1,832	2,382
自己株式	△151	—
株主資本合計	2,231	3,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	474
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	108	167
退職給付に係る調整累計額	7	6
その他の包括利益累計額合計	545	649
純資産合計	2,777	4,132
負債純資産合計	17,674	23,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	33,068	42,166
売上原価	25,952	32,824
売上総利益	7,116	9,342
販売費及び一般管理費	7,851	8,756
営業利益又は営業損失(△)	△735	585
営業外収益		
受取事務手数料	33	46
受取配当金	9	4
雇用調整助成金	119	0
その他	49	54
営業外収益合計	212	105
営業外費用		
支払利息	34	40
支払手数料	13	12
その他	6	2
営業外費用合計	53	56
経常利益又は経常損失(△)	△576	634
特別利益		
投資有価証券売却益	79	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	79	0
特別損失		
投資有価証券評価損	5	—
固定資産除却損	3	0
減損損失	1	—
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△506	635
法人税、住民税及び事業税	33	76
法人税等調整額	68	8
法人税等合計	102	85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△608	550
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△608	550



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△608	550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	44
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	40	59
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	△2	104
四半期包括利益	△611	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△611	654
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月11日を払込日とする国分グループ本社株式会社を割当先とする新株式発行及び自己株式の処分を行い、資本金及び資本準備金が274百万円それぞれ増加し、自己株式が151百万円減少しております。

さらに、2022年6月24日開催の当社第75回定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金を476百万円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が100百万円、資本剰余金が999百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の連結財務諸表「注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業		
売上高					
外部顧客への売上高	29,343	3,642	4	77	33,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	100	—	106
計	29,349	3,642	105	77	33,175
セグメント利益又は損失 (△)	△372	174	70	△17	△145

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託業務です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△145
セグメント間取引消去	10
全社費用(注)	△600
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業		
売上高					
外部顧客への売上高	37,746	4,325	4	89	42,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	100	0	109
計	37,755	4,325	104	89	42,275
セグメント利益又は損失 (△)	824	303	78	△20	1,186

(注) その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託業務です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,186
セグメント間取引消去	11
全社費用(注)	△612
四半期連結損益計算書の営業利益	585

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	21,389	3,056	—	24,445	70	24,516
中京圏	1,414	120	—	1,535	7	1,542
関西圏	4,068	275	—	4,343	—	4,343
海外・その他	2,471	190	—	2,661	—	2,661
顧客との契約から生じる収益	29,343	3,642	—	32,985	77	33,063
その他収益	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	29,343	3,642	4	32,990	77	33,068

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	計		
首都圏	28,591	3,575	—	32,166	85	32,252
中京圏	1,751	138	—	1,890	3	1,894
関西圏	5,071	370	—	5,442	—	5,442
海外・その他	2,333	240	—	2,573	—	2,573
顧客との契約から生じる収益	37,746	4,325	—	42,072	89	42,161
その他収益	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	37,746	4,325	4	42,076	89	42,166

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり物流受託事業です。